

問1 EUにおける経済状況について、一人あたりの国民総所得が4万ドル以上の国が古くからの加盟国に集中する一方で、2004年以降に加盟した国々には2万ドル以下の国が目立ち、大きな開きが見られます。このような加盟国間の状況が原因となって引き起こされた、人口の移動に関する記述として適切なものを選択してください。(2024年 三重公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 賃金の高い西欧諸国を目指して、東欧などの新加盟国から労働者が移動した | 2. 農業の効率化を求めて、西欧諸国から東欧諸国へ農家が大量に移住した | 3. 経済混乱を避けるため、EU内の国境をまたぐ移動が厳しく制限された | 4. 北欧諸国の高所得者が、生活費を抑えるために東欧諸国へ一斉に移住した |
|---------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|

問2 デンマークやノルウェーなど、北欧諸国で盛んな「酪農」という農業形態について、その生産物の特徴を正しく説明しているものを選びなさい。(2026年 兵庫公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 生乳だけでなく、保存性の高いチーズやバターなどの乳製品を生産し、輸出も行っている。 | 2. 主に自給用として、トウモロコシやジャガイモなどの根菜類を家畜の飼料とともに生産している。 | 3. 広大な牧場を移動しながら、羊やヤギの毛を採取して衣類の原料として出荷している。 | 4. 温室を利用して、冬の寒さを避けながらトマトやキュウリなどの夏野菜を生産している。 |
|--|---|--|---|

問3 近年のヨーロッパにおける、欧州連合（EU）の加盟時期と経済的特徴の関係を述べた文として、正しいものを選択してください。(2024年 島根公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 二〇一七年時点の統計では、一人あたりの国民総所得が一万五千ドルに満たない低い所得水準の国々は、主に二〇〇四年以降に加盟した地域に集中している。 | 2. EUは全ての加盟国が同じ所得水準に達してから拡大してきたため、加盟時期による経済格差は生じていない。 | 3. 西ヨーロッパ諸国の所得水準が低下したことにより、比較的所得の高い東ヨーロッパ諸国との差が縮まっている。 | 4. 加盟国間の経済格差を背景として、所得の高い東ヨーロッパから所得の低い西ヨーロッパへと大量の労働力が移動している。 |
|--|---|--|---|

問4 欧州連合（EU）加盟国間における労働力や企業の移動について述べた文章として、経済的な背景を踏まえた最も適切なものはどれですか。(2024年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 高い賃金を求める労働者が東ヨーロッパから西ヨーロッパへ移動し、安価な労働力を求める企業が西ヨーロッパから東ヨーロッパへ進出している。 | 2. 高い賃金を求める労働者が西ヨーロッパから東ヨーロッパへ移動し、安価な労働力を求める企業が東ヨーロッパから西ヨーロッパへ進出している。 | 3. 域内の経済的格差が完全に解消されたため、現在は賃金格差を理由とした労働者の移動や企業の進出は行われていない。 | 4. 経済混乱を防ぐため、EUの規定によって東ヨーロッパから西ヨーロッパへの労働者の移動は厳しく制限されている。 |
|---|---|---|--|

問5 イギリスとフランスを海底トンネル経由で結ぶ高速列車の名称と、その交通網がもたらした状況の変化について述べた説明として、正しいものはどれですか。(2020年 岐阜公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 高速列車ユーロスターが運行されており、ロンドンとパリやブリュッセルといった大陸の主要都市が短時間で結ばれるようになった。 | 2. 高速列車ティー・ジー・ヴィー（TGV）が運行されており、アルプス山脈を越えてイタリアやスイスとの間でのトラック輸送を代替した。 | 3. 高速列車アイ・シー・イー（ICE）が運行されており、オランダの港からイギリスへ向かう国際河川の物流網と統合された。 | 4. 高速列車テルが運行されており、地中海を越えてアフリカ大陸とイギリスを結ぶ新たな物流経路が確立された。 |
|---|--|--|---|

問6 ノルウェーなどの北ヨーロッパの大西洋沿岸部は、北緯60度を超える高緯度に位置しているにもかかわらず、同緯度のアジア東岸や北アメリカ大陸の内陸部と比較して冬の寒さが和らぐ特徴があります。この気候の要因を説明したものとして適切なものはどれですか。(2021年 愛媛公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 赤道付近から北上してくる暖流の北大西洋海流の影響と、その上の温かい空気を運ぶ偏西風の影響を受けるため。 | 2. 北極海から流れ込む寒流のリマン海流を、スカンディナビア山脈が遮断して冷たい大気の流れを防いでいるため。 | 3. 一年を通じて赤道低気圧の影響を受けやすく、温暖で湿潤な空気が絶えず供給されているため。 | 4. 白夜の時期に蓄えられた地熱が、冬の期間に地表から放出されることで気温の低下を抑えているため。 |
|--|--|--|---|

問7 北大西洋海流という暖流と、その上空を吹く偏西風の影響を強く受けるヨーロッパ北西部の気候について、その気候区分名と特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。(2024年 山口公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 西岸海洋性気候 — 高緯度のわりに冬が温暖で、一年を通して降水量の差が少ない。 | 2. 地中海性気候 — 冬は偏西風の影響で雨が降るが、夏は乾燥して気温が高くなる。 | 3. 温暖湿潤気候 — 四季の変化がはっきりしており、夏には季節風の影響で降水量が多くなる。 | 4. 亜寒帯（冷帯）気候 — 夏が短く、冬の寒さが非常に厳しいため、年較差が非常に大きい。 |
|--|---|--|---|

問8 ヨーロッパ北西部で広く行われている、小麦やライ麦などの穀物栽培と、牛や豚などの家畜の飼育を有機的に組み合わせて行う農業形態を何とよみますか。(2014年 愛媛公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-----------|-------|-------|
| 1. 混合農業 | 2. 地中海式農業 | 3. 酪農 | 4. 移牧 |
|---------|-----------|-------|-------|

問9 ヨーロッパ連合（EU）の加盟国間で共通通貨である「ユーロ」が導入されたことによって得られる利点について、適切に述べたものはどれですか。(2021年 鳥取公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 国境を越えて移動や買い物をする際、両替の手間や手数料を省くことができ、経済活動が効率化される。 | 2. EU加盟国のすべてがこの通貨を導入することで、各国の独自の税制や経済政策が完全に禁止される。 | 3. 域内における農作物の価格をすべて統一することができ、農家の収入が完全に保証される。 | 4. ヨーロッパにあるすべての国で利用可能であるため、アジアやアメリカとの貿易において為替の影響を全く受けなくなる。 |
|--|---|--|--|

問10 ヨーロッパ諸国の経済指標をまとめた資料において、一人あたりの国民総所得（GNI）が2万ドルに満たない国の多くが2004年以降にEUへ加盟した国々であるという特徴が見られます。このような加盟国間の経済格差によって生じている事象として、最も適切なものはどれですか。(2020年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 賃金水準の差を背景として、2004年以降の加盟国から、比較的所得の高い西側の加盟国へと労働力が移動している。 | 2. 経済水準を一定に保つため、2004年以降に加盟した国々に対してのみ、EU域内での関税が特別に課されている。 | 3. 加盟国間の格差を是正するため、所得の高い東側の新興加盟国から、経済の低迷する古い加盟国へと巨額の補助金が流れている。 | 4. 一人あたりの国民総所得が低い国々は、EU独自の共通通貨であるユーロの導入を制度上一切認められていない。 |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 賃金の高い西欧諸国を目指して、東欧などの新加盟国から労働者が移動した	EU域内では、加盟国の国民であれば自由に移動し働くことが認められています。そのため、一人あたりの国民総所得が低く経済的に厳しい状況にある東欧の新加盟国から、より高い賃金を求めてイギリス（離脱前）、ドイツ、フランスといった所得水準の高い西欧の古からの加盟国へ多くの労働者が流入することとなりました。これは受け入れ側での雇用問題や、送り出し側での労働力不足といった新たな問題も生んでいます。
問2	答え 1 生乳だけでなく、保存性の高いチーズやバターなどの乳製品を生産し、輸出も行っている。	酪農は、乳牛を飼育して生乳を得るだけでなく、それらを加工してチーズやバターなどの乳製品を作ることを含みます。特に北欧諸国やデンマークでは、これらの乳製品が重要な輸出産業にもなっています。移動しながら家畜を飼うのは「遊牧」であり、野菜の温室栽培は「促成栽培」などに分類されるため、酪農の定義とは異なります。
問3	答え 1 二〇一七年時点の統計では、一人あたりの国民総所得が一万五千ドルに満たない低い所得水準の国々は、主に二〇〇四年以降に加盟した地域に集中している。	EU加盟国の経済状況を一人あたりの国民総所得で見ると、二〇〇四年以降に加盟した東ヨーロッパの国々の多くが、一万五千ドル未満という相対的に低い水準にとどまっていることがわかります。この経済的な差異により、賃金の安い東ヨーロッパへ西ヨーロッパの企業が工場を移転したり、より高い賃金を求めて東から西へと労働者が移動したりする現象が起きています。
問4	答え 1 高い賃金を求める労働者が東ヨーロッパから西ヨーロッパへ移動し、安価な労働力を求める企業が西ヨーロッパから東ヨーロッパへ進出している。	欧州連合（EU）では域内の移動の自由が保障されていますが、加盟国間には依然として所得水準の差が存在します。そのため、より高い賃金を得ようとする労働者は所得水準の高い西ヨーロッパ諸国へ向かい、逆に生産コストを抑えたい企業は労働賃金の安い東ヨーロッパ諸国へと工場などを移転させる傾向があります。このように、自由な移動は経済的な因果関係に基づいています。
問5	答え 1 高速列車ユーロスターが運行されており、ロンドンとパリやブリュッセルといった大陸の主要都市が短時間で結ばれるようになった。	イギリスのロンドンとフランスのパリ、ベルギーのブリュッセルなどは、高速列車の「ユーロスター」によって直接結ばれています。かつては航空機やフェリーが主な移動手段でしたが、海底トンネルを経由する鉄道網の整備により、都市間の移動時間が大幅に短縮され、人や物の流れが活性化しました。
問6	答え 1 赤道付近から北上してくる暖流の北大西洋海流の影響と、その上の温かい空気を運ぶ偏西風の影響を受けるため。	高緯度でありながら冬の気温が極端に下がらないのは、低緯度から暖かい海水を運ぶ暖流（北大西洋海流）と、その影響で温められた空気を大陸側へと運ぶ偏西風の存在があるためです。この影響により、ノルウェーの港は冬でも凍らない不凍港として利用されています。
問7	答え 1 西岸海洋性気候 — 高緯度のわりに冬が温暖で、一年を通して降水量の差が少ない。	北大西洋海流（暖流）と偏西風の相互作用によって作られる気候は、西岸海洋性気候に分類されます。この気候は、偏西風が常に湿った空気を運ぶため、季節による降水量の変動が少なく、かつ冬の気温が同緯度の他の地域に比べて高いことが最大の特徴です。選択肢にある地中海性気候などは、さらに南の地域で見られる特徴です。
問8	答え 1 混合農業	ヨーロッパ北西部の比較的冷涼な気候に適した農業形態です。主食となる小麦やライ麦、あるいは家畜の飼料となる作物の栽培を行いながら、同時に豚や牛といった家畜を飼育することで、経営の安定を図っています。
問9	答え 1 国境を越えて移動や買い物をする際、両替の手間や手数料を省くことができ、経済活動が効率化される。	共通通貨の導入は、国を越えた移動が盛んなヨーロッパにおいて、両替に伴う時間的なロスや手数料というコストを削減する効果があります。これにより、企業間の取引や観光客の消費が促進され、域内全体の経済活性化につながります。ただし、EU加盟国の中でもデンマークなどのようにユーロを導入していない国も存在します。
問10	答え 1 賃金水準の差を背景として、2004年以降の加盟国から、比較的所得の高い西側の加盟国へと労働力が移動している。	2004年以降に加盟した国々と、それ以前の加盟国との間には大きな経済格差（所得格差）が存在します。EU域内では人の移動が自由であるため、より高い賃金を求めて東側の新しい加盟国から西側の古い加盟国（ドイツやフランスなど）へと労働者が移動する現象が活発になりました。これは、送り出す側の労働力不足や、受け入れる側での摩擦など、現在のEUが直面する重要な課題の一つとなっています。